

7 自分自身に対する評価

「自分の意志を持って行動できるほうだ」「厳しい状況の中でも落ち着きを維持することができる」「世の中の出来事や、時事問題に関心がある」「物事を慎重に考えるほうだ」の各設問に対して「とてもそう思う」と回答した者の割合は、日本が4か国中最も低い。

① 自分自身に対する評価

自分自身の特性について「色々なことに挑戦するのが好きである」「物事を慎重に考えるほうだ」など、7項目を挙げ「とてもそう思う」「まあそう思う」「あまりそう思わない」「全くそう思わない」の4段階で回答を求めた。

日本は、「自分の意志を持って行動できるほうだ」「厳しい状況の中でも落ち着きを維持することができる」「世の中の出来事や、時事問題などに関心がある」「物事を慎重に考えるほうだ」について、「とてもそう思う」と回答した割合が米中韓と比べて低い。中国は「色々なことに挑戦するのが好きである」について、「とてもそう思う」と回答した者の割合が24.1%で、日米韓を下回っている。一方、米国は、「色々なことに挑戦するのが好きである」「自分の意志を持って行動できるほうだ」「厳しい状況の中でも落ち着きを維持することができる」「運動やスポーツが好きである」「今の生活に満足している」について、「とてもそう思う」と回答した者の割合がいずれも4か国中最も高い（図7-1～7）。

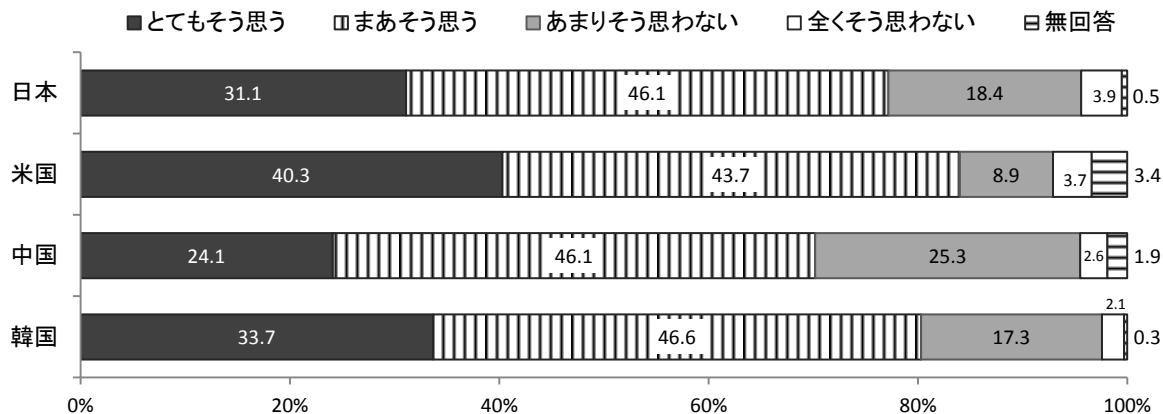


図7-1 色々なことに挑戦するのが好きである

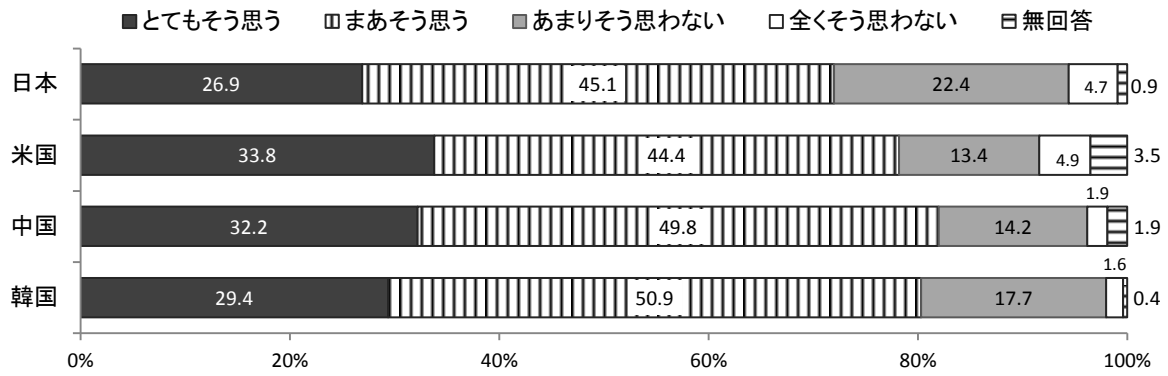


図 7-2 物事を慎重に考えるほうだ

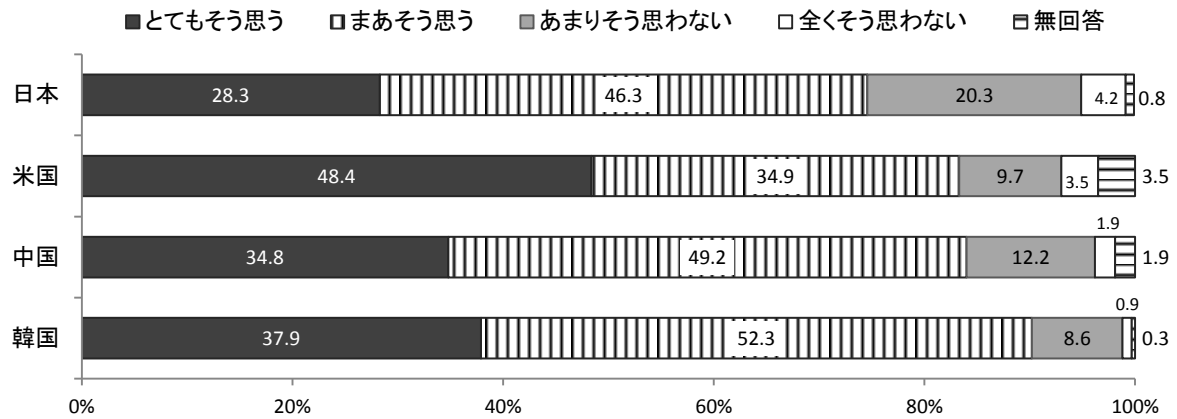


図 7-3 自分の意志を持って行動できるほうだ

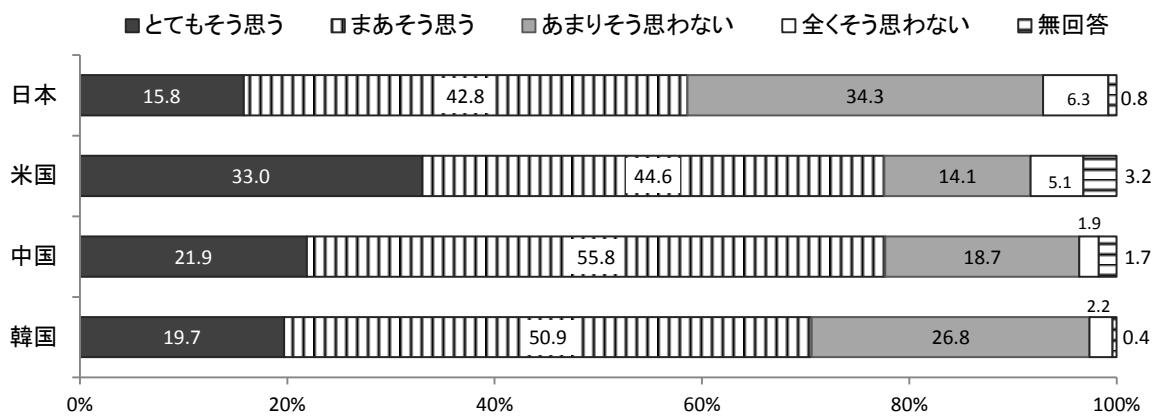


図 7-4 厳しい状況の中でも落ち着きを維持することができる

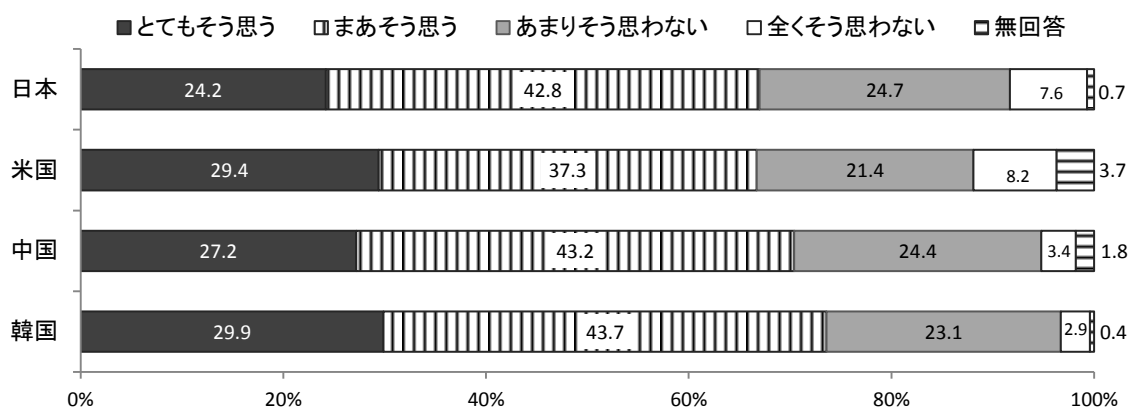


図 7-5 世の中の出来事や、時事問題などに関心がある

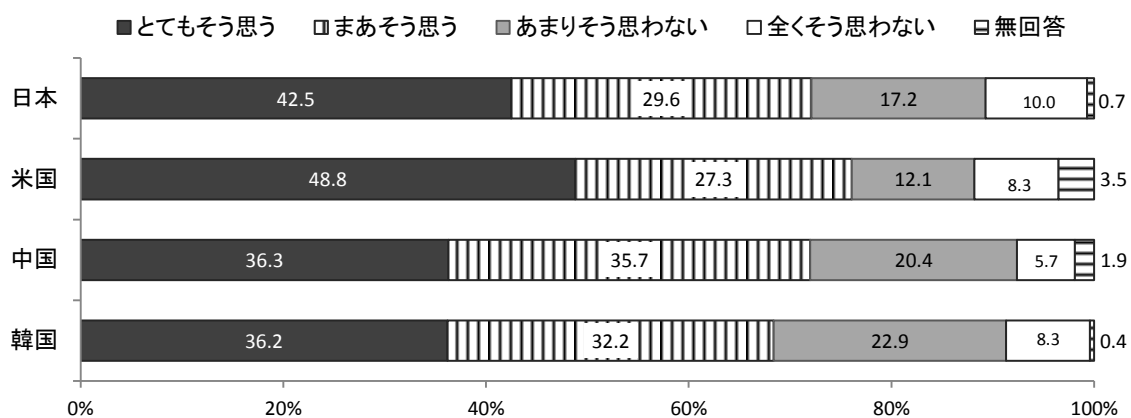


図 7-6 運動やスポーツが好きである

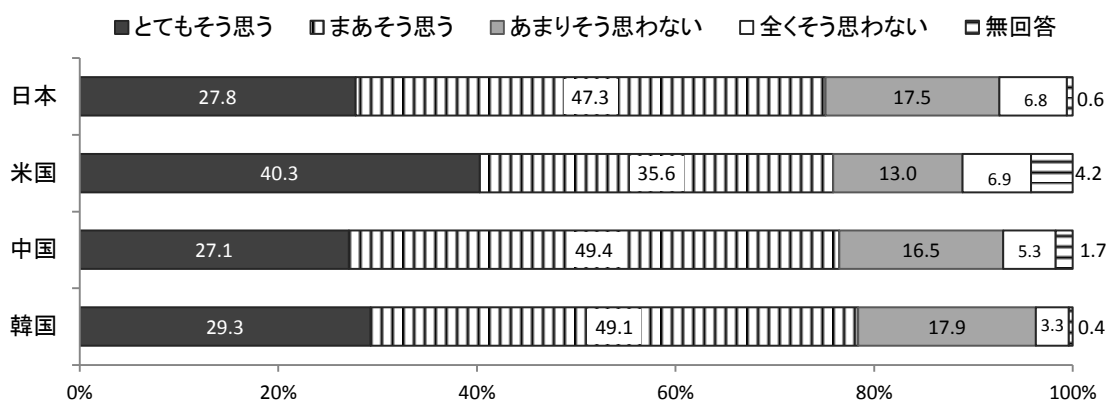


図 7-7 今の生活に満足している

② 野外活動体験の有無と自己評価の関係

野外活動体験の有無と自己評価の関係を探るために、「この1年間、キャンプ、山登りやハイキングなどの野外活動をしたことがあるか」などの設問に「何度もある」「少しある」と回答した者（以下、「体験者」という）と「ない」と回答した者（以下、「未体験者」という）の間で、「色々なことに挑戦するのが好きである」などの、自分自身の評価に違いがあるかを検討した。

野外活動体験者の方が、「色々なことに挑戦するのが好きである」「厳しい状況の中でも落ち着きを維持することができる」「自分の意志を持って行動できるほうだ」「世の中の出来事や、時事問題などに関心がある」「運動やスポーツが好きである」に対し、「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答した者の割合が高くなっている。野外活動と自己評価には深い関係があることがうかがえる（表7-1）。

表 7-1 野外活動体験の有無と自己評価のクロス (％)

	この一年間、キャンプなどの野外活動をしたことがあるか							
	日本		米国		中国		韓国	
	ある	ない	ある	ない	ある	ない	ある	ない
・色々なことに挑戦するのが好きである	83.5	73.4	90.0	80.9	76.7	65.0	84.6	74.6
・厳しい状況の中でも落ち着きを維持することができる	65.1	55.0	83.2	73.6	82.6	74.4	71.8	69.7
・自分の意志を持って行動できるほうだ	80.2	72.0	88.6	81.3	88.4	82.1	91.4	89.3
・物事を慎重に考えるほうだ	71.9	73.1	81.4	80.3	86.6	79.7	80.7	80.9
・世の中の出来事や、時事問題などに関心がある	70.4	65.3	72.7	61.3	75.8	66.2	75.8	71.1
・運動やスポーツが好きである	77.7	69.1	83.9	68.4	78.5	66.2	73.6	61.4
・今の生活に満足している	75.3	75.6	80.8	76.3	79.9	74.9	79.3	78.1

数値は「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答した割合